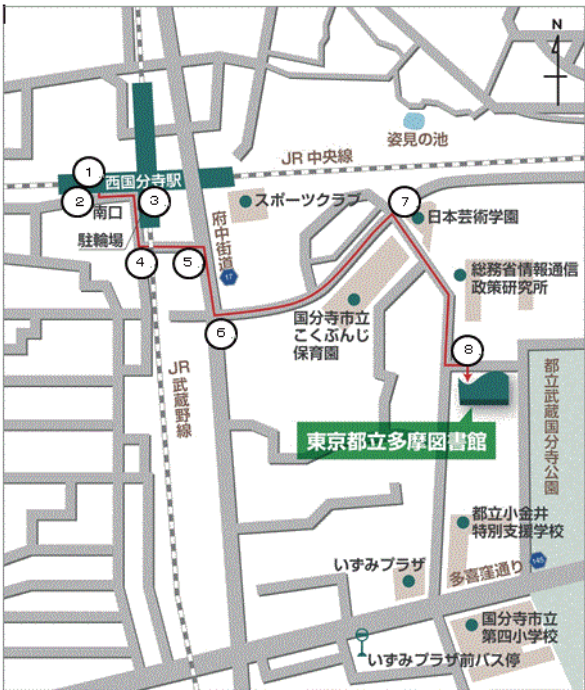


目が見えない人は世界をどのように感じ、把握しているのでしょうか。例えば目が見えない人は夢を「見る」のでしょうか。また、視覚がさえぎられた状態で、パラアスリートたちが全力で競技できるのはなぜなのでしょう。こうした素朴な疑問に答えるため、当事者への聞き取り調査等で得られた新たな知見をもとに講師が解説します。技術の進歩や社会の変化に応じて、障害についての考え方も変わってきています。異なる身体感覚を持つ人々が世界を把握する方法を共有することは、障害を深く理解するための契機となるものです。障害者に対する固定化されたイメージを取り除くことが、障害者の人権について考えるための第一歩です。

【講師プロフィール】

伊藤 亜紗 (いとう・あさ)

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授
1979 年生まれ。専門は美学。もともと生物学者を目指していたが、大学3年次より「文転」(文系学部への転出)。東京大学大学院人文社会系研究科美学芸術学専門分野博士課程修了(文学博士)。主な著作に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』(水声社)、『目が見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書)、『どもる体』(医学書院/シリーズ ケアをひろく)など。



【講座フォローアップ】

講座終了の後、およそ 30 分程度、講師の著書等を紹介しながら、東京都人権プラザの専門員がブックトークを行います。
(事前のお申し込みは不要です)

【会場へのアクセス】

- 1. J R 中央線・武蔵野線 西国分寺駅の改札を出て左に曲がります。
- 2. 南口の駅敷地内を出たところで左に曲がります。
- 3. 突き当りに駐輪場が見えますので、そこを右に曲がります。
- 4. 左側に J R 武蔵野線のガードが見えてきますので、そこを左に曲がります。
- 5. ガード下をくぐり、その先に府中街道がありますので横断して右に曲がります。(府中街道に矢印案内看板が設置されています。)
- 6. 1 つ目の交差点を横断して左に曲がります。(交差点に矢印案内看板が設置されています。)
- 7. 道なりに約 2 3 0 m ほど歩くと交差点がありますので、横断して右に曲がります。(交差点に矢印案内看板が設置されています。)
- 8. 約 1 4 0 m ほど道なりに歩くと左側に都立多摩図書館があります。

【お申し込みは】

電話03-6722-0123

F A X03-6722-0084

Eメールfukyu3001@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数		人
②ご連絡先 (whichever you prefer) (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX	
	メール	@	
③ご所属またはご住所	〒		
④情報保障・託児等の希望	有・無 【希望内容】		

※申込締切日:平成31年2月15日(金) 応募者多数の場合は抽選となります。定員に満たない場合は引き続きお申し込みを受け付けます。
なお、ご提供いただいた個人情報は、申込手続以外使用しません。